釜ヶ崎解放

釜ヶ崎日雇労組

許すな タコ部屋『西播総業』

"強制労働 監禁 暴力行為 未払い"が続出

今すぐ押しかけ、けじめをつけよう

仲間のみなさん

「西播総業」では、暴力、タコ部屋、強制労働の被害が続出し、セーターではラチがあかないということで、この間、6件ほど釜日労に相談が集中している。

このほとんどがデタラメな労働条件で手配され満期になっても清算してもらえず、契約期間を無理やりのばされ早朝なら休けいもなく仕事に追いたてられ飯場内では儀式をぼったくられ、ちょっとしたことで、"木刀"をもったトンコ番にメッタ打ちをくらうという状態である。

その中のTさんの場合をとりあげてみるとTさんは、2月17日、朝10じごろ、酔っぱらってセーターでねていたところを知らぬまに車にのせられ、姫路につれていかれた。

とりあえず、20日契約で入飯させられたが、3月8日の満期日をすぎても帰してくれず、4月5日(長期のしめ切り日)の晩に裏口から、トンコしてきた。実働48日の計算は、たった2万349円でありしかも、その場で、強制貯金という名目で2万円をとられている。

3月22日の晩には、ボーシンならどつかれていた仲間を介抱したという理由で、Tさんもどつかれ、さらに2人のボーシンにねこみをおそわれて全治3週間のアバラ骨折の重傷を負わされた。

ウラへつづきます

これが〝タコ部屋〟だ!!

このような「西播」の悪らつさは、これにとどまらない。

釜日労が集約した、タコ部屋〟のもようはつぎのようなものである。

(1) Tさんの例のように、手配というより、強制連行で飯場につれていく。

(2) 労働条件は明示しないね。あるいは、まったくデタラメである。

(3) 7じから近くの現場になりだし、10じ、3じの休けいもなく昼めしも30分だけで残業手当もださず、6じすぎまでビッチリ仕事をさせる。

(4) 満期を引きのばし、あげくのはては、賃金をふみたおす。さらには強制貯金という名目で不当に上まえをはねている。

(5) 市価の7割～10割の値段をふっかけ、諸式をぼったくる。

(6) 飯場内でのボーシンによるトンコ番体制をきっちりしき、夜10じ、夜中の3じには、ねているところをパズみまわり、新入飯者については、2、3日間特別監視をする。

(7) ボーシンはいつも木刀をもって武装し、朝ケじの全員点呼のとき、返事ななったらケリあげるなど、ボーシンの気の向くままにドツキまくる暴力支配を行なっている。

(8) 飯場内に〝罰金制度〟なあり、立ち小便、部屋での飲酒、無断欠勤、無断外出については一万円の罰金をとる。

(9) 「印紙あり」で手配しながら、実際は印紙がない。

タコ部屋追放の斗いに決起せよ!

仲間たち!

このような労働者をくいものにし、生き血を吸ってこえ太っているタコ部屋を釜の仕きくの前で堂々とのさばらせるわけにはいかない!

「西播総業」に対し、被害にあった仲間の補償、釜の労働者に対する全面謝罪をきっちり行なわせ、タコ部屋に対して釜の労働者の底力でけじめをつけさせようではないね!

今すぐ〝タコ部屋追放〟の斗いに大担に決起しよう!

今すぐ タコ部屋「西播総業」へ バス〝勝利号〟でのり込もう!